

# 助川山市民の森 ドングリの森づくり

## 1 社会資本の概要

助川山市民の森は、平成3年3月に発生した日立市市街地西側山地での森林火災の跡地の内、約150ヘクタールを市が森林公園「助川山市民の森」として整備し、平成10年3月から開放しました。公園内各所からは、太平洋を遠望でき、年間を通じて日立市民や県内外からの登山者やハイカーで賑わっています。

公園開設（平成10年）以来、18年間、毎年300～400本のドングリの木（クヌギ・コナラ）の植樹を続け（累計7,000本超）、現在も豊かな里山造りが進んでいます。

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「NPO法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ」は、公園整備中にゴミ拾い等を行いながら歩いていた有志により、公園育成の応援を目的に発足し、森林火災により荒廃した山に個性的で魅力的な森を再生する活動「ドングリの森づくり」を展開しています。

活動においては、幅広い市民に助川山の自然を楽しんで頂くために、保育園児、障害者（団体・個人）などに対する積極的なハイキング案内や、公園を紹介する各種パンフレットを自ら作成・配布し、訪れた方々に公園に棲む動植物を知ってもらうことで親しみを持って頂いています。

また、地元成沢小学校6年生全員参加による卒業記念植樹会の定例化や、日立市主催の環境フェスタ（エコフェス日立）及び日立市子ども祭りに毎年ブースを出展し、木工工作教室を開催することで、子供たちへの自然環境保全教育にも力を注いでいます。



毎年7月は日立市のエコフェス日立に出展参加  
木工工作教室は大好評



【保育園児へのハイキング案内】  
子どもたちのハイクは案内者も楽しい。子ども達が自然の中で  
経験する感動や発見を大切に豊かな感性を育てていきます



日立市成沢小学校6年生卒業記念 ドングリの木植樹会



## 茨城県 日立市

特定非営利活動法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ／日立市

### 3 活動の成果や波及効果等

当くらぶの活動の柱として毎年2～3月にドングリの木植樹会を3回に分けて実施しています。①日立市林業探検少年団、②成沢小学校6年生全員、③一般市民及び保育園児と保護者の3回、クヌギとコナラの植樹を15年以上続け、累計本数は7,000本を超えました。豊かな里山作りに貢献し、自然環境保全に関する子どもたちへの教育効果は計りしれないものがあります。



日立市林業探検少年団の除草刈り実習風景  
子どもたちは、小鎌と大鎌の使用を経験しました

### 4 前回受賞時からの活動の発展内容

平成16年度の前回受賞時と比べて、会員の高齢化と少人化が進んでいますが、作業を機械化する機材の導入と、その機材の使用習熟により、活動規模は確実に継続・拡大しています。

受賞以降は、日立市の環境フェスタ、子ども祭りなどに木工教室の出前参加や、ネイチャーセンター駐在による来場者の案内、「林業探検少年団」の活動支援などの活動を新たに始めています。

### 喜びの声



#### 受賞者

NPO法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ  
理事長 多田 恒雄

#### コメント

18年間、地道に続けてきたボランティア活動が評価されたものとして、会員一同、大変喜んでおります。  
この受賞を励みとして、今後も、よりよい公園作りを目指して頑張ると共に、会員相互の親睦や健康増進のためにも、愉快な楽しい活動を続けてゆきます。

#### 活動内容

- ・公園内の森林の保全と施設、遊歩道の整備
- ・幼児や障害者のハイキング支援、案内
- ・植樹会、巣箱教室、木工工作教室の開催 など

#### 活動の経緯

平成10年 任意団体としてボランティア活動開始  
平成14年 日立市より「公園パトロール」を受託  
平成16年 日立市と「公園里親協定」を締結  
組織を任意団体からNPO法人に変更

手づくり郷土賞  
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

#### 所在地

茨城県 日立市 助川町地内

#### 活動主体及び連絡先

NPO法人 森の自然学校 助川山保全くらぶ (0294-32-3972)  
HP: <http://www.net1.jway.ne.jp/zg6y-hri/>

#### 対象となる社会資本

助川山市民の森 ※管理者:日立市

